

片山研究室 10 周年記念講演会

日時 10月13日(土)

会場 九州大学伊都キャンパス 西講義棟第二講義室

卒業生の皆さんへ

この度は、研究室 10 周年をお祝い戴き、ありがとうございます。

私自身は 10 周年という実感はありませんが、これを機会にして卒業生の皆さんが交流して戴ければ、一番うれしく存じます。大学時代というのは、我が身を振り返っても、非常に貴重な時代であったように思います。その経験を共通項にいろんな世代の皆さんが交流していただければ、10 周年などと言う面はゆい行事も意義のあることだと思います。私自身は、あまり来し方を振り返ったことはなく、まだまだ残り少ないとはいえ進む方向を見るのに精一杯ですが、卒業生の皆さんがご活躍されている姿を知ることは、最も大きな慶びの一つです。

研究室の方は、皆さんの時と同じく学生さんやスタッフの先生方が非常に頑張ってくれています。来春には、1/3 が留学生、1/3 が女子学生となり、時代の流れを感じています。何とかこれからの社会に役に立てる新しい考え方のテクノロジーを作り上げたいと思っています。

今、我が国は非常に重要な岐路にさしかかっているように思います。皆さんは、まさに社会の担い手としてこの国を新しい方向に変えていかねばならない世代です。常に新しい物事を創り出し、挑戦していく皆さんであることを信じて、益々のご活躍を楽しみにしています。10 周年に限らず、御来福の折は是非研究室にも遊びにいらしてください。また、後輩にもいろんな話を聞かせてやって頂けるとうれしいです。

この度は本当にありがとうございます。
益々のご多幸をお祈り申し上げます。

立志尚特異
俗流與議難
不思身後業
且偷目前安
百年一瞬耳
君子勿素餐

片山佳樹



片山研究室 10 周年記念講演会

日時 10月13日(土)

会場 九州大学伊都キャンパス 西講義棟第二講義室

講演会 プログラム

13:30~13:35 開会の挨拶

13:35~13:55 講演1: 大内雄也氏(同仁化学研究所) 2001年度博士卒

13:55~14:15 講演2: 園田達彦氏(北九州高専) 2002年度博士卒

休憩

14:45~15:05 講演3: 姜貞勲氏(国立循環器病センター) 2008年度までPD

15:05~15:25 講演4: 河野喬仁氏(九州大学医学研究科) 2007年度博士卒

休憩

15:55~16:15 講演5: 韓暁明氏(大塚製薬工場) 2009年度博士卒

16:15~16:40 講演6: 紫垣修平氏(塩野義製薬) 2006年度博士卒

16:40~16:45 閉会の挨拶

16:45~17:30 研究室見学

17:30~18:30 祝賀会会場へバスで移動

祝賀会

18:30~20:30 会場 博多エクセルホテル東急

片山研究室10年の軌跡

2002年4月 九州大学工学部応用物質化学科に片山研究室誕生。

2003年4月 片山先生、教授にご昇進。

2003年4月 宝田助手が理化学研究所へご栄転。

2003年4月 システム生命科学府の第一期生が大学院へ入学。

2003年9月 片山教授、CRESTに採択され、すでに前年度からはじめていたNEDOとの掛け持ちで、多忙を極める。

2004年4月 新留助教授が長崎大学よりご着任。

2005年4月 村田助手が九州大学医学部へご栄転。

2005年10月 歴史ある箱崎キャンパスを離れ、新キャンパス（伊都キャンパス）へ第一陣として移動。停電、水が出ないなどトラブル続出。

2005年11月 森助手が徳島大学よりご着任。

2006年4月 浅井博士研究員が聖マリアンナ医科大へご栄転。

2007年7月 毎夏恒例のバーベキュー大会がはじまる。

2007年10月 新留准教授がさきがけ研究に採択される。

2008年10月 森助教が1年間のアメリカ留学に旅立つ。

2009年4月 姜特任助教が国立循環器病センターへご栄転。

2009年5月 ソフトボール大会で初優勝。以後、2連覇達成。短い黄金時代であった。

2010年11月 宮崎の青島太平洋マラソンへ有志が参加しはじめる。

2012年4月 片山教授、先端医療イノベーションセンターの室長を兼任。

2012年4月 10周年を迎える。

歴代のM1 学生幹事、研究室旅行

年度	M1 学生幹事	研究室旅行
2000年度	山崎朋	熊本・南阿蘇
2001年度	小川昌子	大分・国東
2002年度	迫田康稔	長崎・平戸
2003年度	佐藤嘉邦	(中止)
2004年度	黒木慎一郎	沖縄
2005年度	山地貴之	大分・日田
2006年度	戸井田力	長崎
2007年度	秋山泰之	別府
2008年度	大賀晃	熊本・阿蘇
2009年度	矢山由洋	熊本・人吉
2010年度	野瀬圭介	秋吉台
2011年度	小林弘明	黒川温泉・阿蘇
2012年度	中村雄太	別府

歴代M1 幹事のみなさんには、本会の運営にあたり、同級生への連絡などでご協力いただきました。ありがとうございました。

卒業生、スタッフ名簿

(コメントは「片山研と私」という題で皆さんからいただいたものです)

* 卒業生の修了年度は、基本的に修士卒の年度で掲載しました。

～スタッフ～

新留琢郎 (04～ 准教授) 長崎から出てきて9年目。たくさんチャンスをもたらしました。そして、だんだんチャンスを与える立場に。遠い将来、近い将来、見つめながら、毎日を大切にしていきたいと思います。

村田正治 (98～05助手、医学研究院准教授) 片山研 10 周年おめでとうございます。私は片山研最初の助手として大変御世話になりました。片山研の自由闊達な雰囲気は、学生時代を過ごした高木研究室同様、私にとっては理想の環境でした。ちょっとハメをはずしすぎたことは反省しつつ……。当時、片山先生には全く制約無く自由に研究させて頂き心から感謝しております。数多くの失敗も経験しましたが、その時に見つけたいくつかの芽が、今、医学部という新しい環境の中でようやく実を結ぶところまでたどり着くことができそうです。これまで指導させてもらった死屍累々の学生さん達の霊は真心込めて供養させていただきます。合掌。現在の片山研はその研究成果の質、量ともに飛躍的に伸びており、今もなお良い刺激を頂いております。そしてこれからも卒業生がひょっこり顔を出せるような研究室であり続けて欲しいと願っております。私もその一人であることを誇りに思っています。

森 健 (00 博士卒、05～ 助教) 学生時代と、2005 年に助教として採用していただいてから、長くご指導いただいております。幅広い研究を学ぶ機会をいただき、学生に恵まれ、むっちゃ幸せです！ ただ、いまだ私の名前を「もりけん」と思っているのではないかと心配です。

山本竜広 (03 博士卒、12～ 客員准教授) 10 周年おめでとうございます！ 私は福岡市の外郭団体である(財)九州先端科学技術研究所で、研究開発にも携わる産学連携コーディネータとして活動しています。片山研で学んだ多くのことが、現在の研究開発・産学連携業務に役立っています。また、現在も片山先生には、一緒に共同研究開発を行うという形で大変お世話になっております。片山研に、ますます活気があふれるよう、私も微力ながら貢献できればと考えています。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

園田 (大坪) 桂子 (02～04 事務補佐員) 片山研究室 10 周年ということは、片山人生相談室 10 周年でもあるわけですね。大変大変お世話になりました。400 字以内なんて無理無理ムリ。敬愛する片山先生について、そんな短文では述べられませんとも。

橋口倫代（04～07事務補佐員）

梨木（中野）麻沙子（05事務補佐員） 秘書だった中野です！大学卒業してたった1年間でしたが、片山先生をはじめ、研究室の皆さんに会えて本当に良かったです。皆さんが一生懸命に研究する姿を拝見しながら、社会人としての経験を積ませていただきましたし、飲み会なども楽しかったです^^ 片山先生10周年おめでとうございます！久しぶりにお会いできるのを楽しみにしています。

菅尾（有吉）由香（06～12事務補佐員） この度は、片山研究室設立10周年おめでとうございます。片山研究室では主に予算管理を任せられ、その他様々な職務を通し経験を積み重ねることができました。そして、人として学ぶことが沢山あり充実した6年間を過ごすことができました。良い環境で勤務することができたのは片山先生のお人柄ですね。10周年を迎え、さらなる片山研究室のご活躍をこれからも期待しております。

宮崎万里（12～事務補佐員） 片山研究室の事務補佐員として勤務して半年経ちましたが、毎日出勤するのが楽しくなるほど快適に仕事をさせていただいています。片山先生の優しいお人柄に触れ、度々感動しています。今後も、微力ながら片山先生と研究室の皆様のお役に立てられしく思います。

増本奈巳（04～07研究補助員）

園田達彦（02博士卒、03～05PD、北九州高専） 10周年おめでとうございます。研究室には本当に様々な思い出があります。今の自分があるのは間違いなく片山先生、そして同じ時間を共有した皆様のお陰だと思えます。講演会では感謝の気持ちをお伝えしたいと思っています。片山先生へ、これからも実験装置を借りにひょこひょこ現れますのでよろしくお願ひいたします。

姜貞勲（04～08PD、国立循環器病センター） 私に新しい挑戦の道を開いてくれた方

児玉耕太（04～05PD、北海道大学）

佐藤祐子（05～07PD、京都大学） 片山研は私にとって、ポスドクとして初めての研究室でした。好きなことをやらせていただきました。が、今思えば、もっと好きにやっても良かったのかもしれないなとも思います。先生方、同僚にも恵まれ、優秀できちんとしている学生さん達と一緒に過ごさせていただき、非常に有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。

浅井大輔（05PD、聖マリアンナ医科大学） 片山研発足10周年記念おめでとうございます。輝かしいご発展を遂げられている研究室の片山佳樹先生をはじめ、教室員の皆様に敬意を表し、本会が次の10年へ向けてのますますの飛躍の出発点となりますよう、心より祈念いたします。2005年の片山研在籍を機に、私の研究路線にパラダイムシフトがおき、基礎科学から応用科学分野へと大幅に方向転換して現在に至っています。理・医の生化学をバックグラウンドに修練を積んで

いたはずが、気付けばいつのまにか生体材料工学の研究に夢中になっていました。私にとって片山研は工学研究発端の場所であり、かけがえの無い仲間と貴重な時間を過ごした場所であり、良き古巣であり、こうした思いと経験が現在の私の活動の支える土台となっています。今後も何らかの形で関わりをもち、お手伝いができればと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

Dakrong Pissuwan (09~11 PD、大阪大学) | “Katayama Lab” opened a door to welcome me to Japan. Everything was well prepared for me from the start until the end. Around two years in Katayama Lab, I received a lot of chances that later brought me to a wider scientific community than in the past. I was naturally trained from Katayama Lab not only in research views but also in other views especially in the views of culture and society that both views are very new for me. The supports from Katayama lab to me have not been ended, although my fellow period was already ended. “This lab is your lab; you can come back anytime” This message was from Katayama sensei who is a leader of a group. It was my luck to have Takuro Sensei as my supervisor and also received supports from Katayama Sensei. As well, I received the support from members in Katayama Lab in the different ways. Thank you so much again to be a host for me and I wish Katayama Lab fulfills with high achievements in science, grant, and life.

～前田研時の卒業生～

(コメントをいただいた方のみ掲載しました)

川崎雅史 (97修士卒、日本ゼオン) 片山先生と初めて会ったのは、私がM1のころ（今から15年くらい前）でした。その当時、前田研が設立されるにあたって准教授としてこられたのが最初でした。初めて会った時の印象は、「このひとホントに日本人？」でした。片山先生は、ほんとに気さくな方で、あまり先生らしさを感じなかったことを記憶しています。その当時30代半ばだったと思うので、現在は50歳？でしょうか。想像が付きません。写真を見る限りでは、あまり変わってないようですね。お会いできるのを楽しみにしています。

大内雄也 (01博士卒、同仁化学研究所) 発表するのでご勘弁を。

小出 和宏 (98修士卒) 研究よりも麻雀に没頭していたダメダメ学生な私を優しく指導頂きありがとうございました。10年と言わず、20年、30年と益々発展してください!!

榊原茂基 (02博士卒、旭化成メディカル) よく遊び、よく学び、よく遊んで、よく遊んだ。

穴田貴久 (02博士卒、東北大学) 10周年おめでとございます。15年前、北大で片山先生の講演を聴き、九大を受験することを決意しました。研究室の皆さんが謎の北海道人を快く受け入れてくれたことを大変感謝しております。九大での三年間がなければ今の私はありません。先生方にはいまだにお世話になりっぱなしなので、いつかは恩返しできるよう頑張ります。

入江 浩司（99修士卒、日機装） 10周年おめでとうございます。講演会楽しみにしております。今後、ますますの発展をお祈り申し上げます。

木地（有澤）正美（99修士卒） 片山研究室10周年おめでとうございます。前田研時代ではありますが、3年間非常に充実していました。直属の前田先生には、丁寧にご指導いただきました。そして、直属のテーマではない私でしたが、片山先生に質問や相談させていただいた時は、いつもわかりやすく教えていただきました。就職試験の時も、会社側の考え方など、アドバイスをいただいたのを覚えています。森さんには最初のテーマで、実験しかたや資料の作り方を丁寧にご指導いただきました。そのおかげで、就職してからもやって行けたのではないかと考えています。また、研究室の学生同士も先輩後輩に渡って非常に仲が良かったと思います。ポーリング、映画、飲み会などいろんな思い出がたくさんあります。今の片山研究室も、きっと充実した学生の多い研究室であることと思います。次の20周年記念も楽しみにしています。

金野（矢ヶ部）恵子（99修士卒、University of Miami） 片山研究室10周年、おめでとうございます。今回は参加できず、とても残念です。思い起こせば14年前、私は片山研の前身である前田研の大学院生でしたので、『片山研と私』というタイトルからは外れてしまいましたが、片山先生に関してとても印象に残っていることがあります。とある学会で、『日本語がお上手ですね』と声を掛けられたというエピソードを楽しそうに話された姿です。大爆笑でした。また、片山先生は私の顔が見えなくても、私の笑い声で判別がつくそうです。この話は卒業後研究室を訪ねたときに伺いました。私はどれだけ大騒ぎしていたのかと、猛反省しました。帰国したら、また訪問させて頂こうと考えているので、その時が今からとても楽しみです。猛反省にもかかわらず、私の笑い声は全く変わっていませんので、今でも判別可能だと思います。片山先生の更なるご活躍、そして片山研究室の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

梅崎（福間）香織（00修士卒） 物事はうまくいかないものだとすることを学ばせていただきました。おかげで、卒業後も強く生きています。

宗伸明（00修士卒後、論文博士、佐賀大学） 片山先生、10周年おめでとうございます。片山先生が助教授をされていたころを懐かしく思います。私も当時の片山先生くらいの年齢になったように思いますが、先生の足元にも追い付かず、毎日四苦八苦しております。どうぞ、これからもご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。片山研の益々のご発展を心よりお祈りしております。

榊原（小田）ふみ（00修士卒） 優しい先生方、個性豊かな先輩達、そして素敵な仲間にも囲まれて楽しくも充実した研究室生活でした。この三年間は今でも私の宝物です。片山先生、万歳！！

横溝久（99学士卒、九州大学病院） 学部応用化学科3年時後半に片山先生の生体高分子という授業を受けてから化学と医学の繋がりに気づき、結果的に医学に進路を変更しました。約10年経過した現在も、片山先生をはじめ、村田さんや森さんとも時々、馬出キャンパスで会うなど、やはり片山先生の研究は最新の医学と密接した内容と実感しています。この度は10周年記念、おめで

とうございます。

小屋松 祐一（99学士卒、東レ） 片山先生、研究室開設 10 周年誠におめでとうとうございます。10 年は一つの大きな節目ではございますが、単なる通過点でもあると思います。次の 10 年 20 年に向けて今まで以上に素晴らしい研究室を築き上げていかれることを期待しています。これからも変わらぬご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいいたします。

橋本健太郎（00学士卒、三井住友信託銀行） めちゃくちゃ最高でした(^O^)/ 周りは最悪だったでしょうが…

天野 裕務（01修士卒、UBE科学分析センター） 片山先生、研究室 10 周年おめでとうとうございます！ 片山研(前田研)では、なぜか無礼者無礼者と言われ続けられましたが、それはきっと、研究室が自由に発言できる雰囲気だったからだと信じています。在籍の間に身についた「発言するという習慣」は、仕事にも必須のことであり私の一つの武器となっている気がします。今回、お世話になった片山先生や諸先輩方、そして片山研を築き上げてきた皆様にお会いできるのを楽しみにしております！

柴田 大樹（01修士卒、帝國製薬） 卒業して 10 年になりますが、研究室で学んだことは今の製薬の仕事にも活かされています。

坂井 裕大（01修士卒、ジーシー研究所） 卒業してから 10 年以上になりますが、バイオマテリアル学会や展示会の講演題目で片山先生をはじめとする皆様のご活躍を感じる機会も多いように感じます。今後のますますの研究のご発展をお祈り申し上げます。今では化学からは少し離れて仕事で培養が多いのですが、考えてみれば、私の培養のルーツは、片山先生の助教授室の片隅のクリーンベンチです。あの部屋で集まってアットホームな雰囲気でも議論等していたのが、懐かしく思い出します。

～2002 年度卒～

伊藤 悦子（02修士卒） 10 周年、おめでとうとうございます！！今回は都合があわず欠席とさせていただきますが、皆様のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

加来 亘（02修士卒、キヤノン） 片山先生、研究室設立 10 周年おめでとうとうございます。あいにく出張の予定があるため、お祝いのメッセージにて失礼致します。雨漏りのする歴史的建造物でスタートした片山研の 1 期生として在籍できたことを光栄に思います。不思議なことに、人よりも研究室に居る時間が短かった私ですが、片山先生・諸先輩の研究に対する姿勢から、「楽しむ」「オリジナリティを重視する」という技術者にとって最も重要なことを学ばせて頂きました。現在はデザイン・知的財産と異分野の業務に就いておりますが、片山先生・諸先輩をお手本に頑張っております。今後も片山先生の益々のご活躍、研究室のご発展をお祈りしております。

韓愛善（05博士卒、現・東レ） 私は片山研ができて、第一期の博士課程を卒業した学生で、非常に光栄に思っています。まだ伊都キャンパスに移転する前、箱崎キャンパスのとき、片山先生は初期は顕微鏡が置いている部屋のかどにお席がございました。入るといつも方指一本ずつでキーボードをカタカタすごいスピードで入力しているのも目にした覚えと、結構ぼろいサンダル姿でいつも小走りしているのが印象的です。同時はペプチド合成を手動でやっていて、どうしてもMSの結果とかみ合わなく、先生に助けを求めて行ったら、アミノ酸の分子量を全部覚えていて、分子量を計算する姿を見せ、とても衝撃を受けた覚えがまだ鮮明です。いつも親切で、やさしくして頂き、本当によい留学生活を送ることができたと思います。10周年本当におめでとうございます。

権田初美（02修士卒）

宗（合田）千文（02修士卒）

藤井健司（02修士卒） 片山研時代には、研究室が好きで（暇だったとも言えますが）、かなりの時間を片山研で過ごしていました。その中で、研究の楽しみを知り打ち込んだこと、激しい飲み会で騒いだこと等、非常に懐かしく思っています。このメッセージを書く間でも、当時の面白おかしい事件が色々と思いだされてきましたが、それは直にお会いした時までとっておくことにします。今回の10周年記念講演会・祝賀会では、片山研究室の先輩、後輩に会い、当時やその後の事について色々と話せることを楽しみにしています。そして、当時の気分で楽しみたいと思っています。

山本（小川）昌子（02修士卒） 片山研10周年心からお祝い申し上げます。。私は片山研修了第一期生になりますので、卒業からもう10年経ったのかと月日の流れの速さに驚きます。片山先生との会話で印象に残っているものをひとつ挙げますと、片山先生が弁当か何かに入っていた半煮え状態のイチゴを見て「こりゃあこのイチゴはもうアポトーシスって感じやなあ」と言われましたので、「いやいや、むしろもうネクローシスですよ」と私が返したところ「小川さん、そんなこと言っていると嫁に行けないよ。。。 」とあきれられたことでしょうか。（一応、なんとか嫁には行きましたので、ご安心ください。）一度、伊都キャンパスの見学に行きましたが、私が在籍していたときとは全く異なる研究環境にとても感心しました。また遊びに行けたらと思います。今後とも片山研のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

～2003年度卒～

河村健司（06博士卒、東レ） どのような分野と向かい合う時でも、化学的なアプローチで臨むこと、いつまでも少年の心を忘れないこと、この片山研のスピリットを今でも忘れずに仕事に精を出しております。顔色が黒くなりすぎない程度にお酒を飲むこと、これも片山先生の教えでしょうか・・・

紫垣修平（06博士卒、塩野義製薬） 6年間楽しく研究生活を送ることができました。現在も片

山研で学んだマインドを大切に研究に励んでいます。

濱口祐三（03修士卒）

矢野健太郎（03修士卒）

～2004 年度卒～

生田健次郎（07博士卒、三菱レイヨン）片山研では人として大事なこと、また研究者として大事なことを学びました。片山研では皆が優しく、そのような先輩、同期、後輩と共に生活する中で他人とのコミュニケーションや他人を敬う心を学びました。また研究においては、研究の進め方や考え方を学び今の仕事をする上でも重要な基盤を研究室で構築しました。卒業のときに先生より頂いた言葉で「ひとのために努力するのがプロフェッショナルである」という言葉が心に深く残っています。普段の会社生活では自分の仕事、自分の価値観を優先しがちなのですが、何かあるたびに先生の言葉を思い出し、自分の行動が本当にプロフェッショナルかどうか見つめ直すようにしています。片山研で学んだことは今の私を形成する根幹です。

井上雄介（07博士卒、住友ベークライト）やはり印象的だったのは「人生の選択肢にコントロールは無い」という片山先生から頂いたありがたいお言葉でしょうか。。

大石潤（07博士卒、大日本住友製薬）片山研究室 10 周年おめでとうございます。今思えば深く考えず選んだ（？）博士課程でしたが、研究の基本を学べただけでなく、良き師匠、仲間にも恵まれた 5 年間だったと思います。今後の発展を心よりお祈りいたします。

小林和寿（04長崎大修士卒、アボットジャパン）長崎大の M2 に進学した年に新留先生が片山研の准教授として異動され、GW 明け早々に河野君（現九州大学医学研究科）と共に拉致されました。目を覚ますとそこは片山研でした…。1 年足らずという短い期間でしたが、片山先生をはじめ当時の研究室のメンバーは私たちを暖かく迎えていただき、無事修了することが出来ました。

河野喬仁（04長崎大修士卒、07博士卒、九州大学医学研究院）10 周年おめでとうございます。片山研時代は本当に楽しかったです。

迫田 康稔（04修士卒）片山研という場は、私にとっての挑戦マインドの礎である。研究室在籍時には大きな成果を残せていないものの、新規研究テーマの挑戦・博士過程への進学など、当時の自分にとっては、挑戦の連続だった。社会人になってからも、自分の目指すべき方向性に向けてチャレンジを忘れていない。現職では、現状、外資特有のリストラクチャリングの中で、社外・社内的にも成果を出さないといけない状況である。このような状況で、目指すべき方向性へと活力を得ることができるのは、片山研究室で培った挑戦マインドが原動力であると感じている。今後、ビジネスパーソンとして活躍し、社会に貢献していくことが、片山先生をはじめ片山研への恩返し

と考えており、日々研鑽していきたい。

佐藤嘉邦（04修士卒、化学及血清療法研究所） 一応、片山研（システム生命科学府）の第一期生です。

西健太郎（05～07博士課程在学） 生物学しか勉強をしてこなかった私は、有機合成というものに触れるきっかけとなった研究室でした。短い期間ではありましたが、片山研で経験させていただいた多くの事は、今でも感謝しきれません。この度の十周年本当におめでとうございませう。

野上貴司（04修士卒）

山川（古賀）絵里奈（04修士卒） 片山研究室 10 周年、誠におめでとうございませう。片山研究室では、研究の基礎を学ばせて頂きました。とは言うものの、片山研の思い出といえば、みんなで BBQ をしたことやソフトボールの練習、研究室旅行で沖縄へ行ったことです。研究というより、自由奔放に研究室生活を送っていた様に思ひます。こんな私を最後まで指導して頂き、片山先生、村田先生には本当に感謝してひひます。片山研究室の益々のご発展をお祈り申し上げます。

唐中嵐（04博士卒、東京女子医科大） 片山先生、新留先生、森さん、片山研究室の皆様、こんにちは、OB の唐中嵐です。片山研究室創立 10 周年記念、誠におめでとうございませう。前田研究室初の外国人留学生として、研究室に入ってから、いろいろ大変片山先生にお世話になりました。片山先生は私に学術まじめ、勉強の方法、日本語、日本の文化などいろいろ丁寧に説明していただき、誠にありがとうございました。先生から一生でも忘れない大切な知恵を習ひました。これは今の私の人生を支える大切なものと思ひます。今度の片山研究室 10 周年記念講演会・祝賀会に参加できないのは非常に残念ですが、片山先生はじめ研究室の皆様方の今後のご進歩と研究室ますますのご発展を祈念いたします。

～2005 年度卒～

浦崎哲彦（05修士卒、エーザイ） 10 周年おめでとうございませう。ちょうど箱崎から伊都へのキャンパス移転時に在籍してひひまして、引っ越しが懐かしいです。今後の益々のご発展を期待してひひます。

黒木慎一郎（05修士卒、化学及血清療法研究所） 片山研究室 10 周年おめでとうございませう。片山研究室の一員としての 3 年間を振り返ると、何よりも人に恵まれ、充実した研究生活を送ることができました。特に直接ご指導頂いた村田さんには大変感謝してひひます。お陰様で、楽しく愉快的な時間を過ごさせて頂きました。片山研での経験は、現在の自分のベースとなっていると思ひます。片山研究室の今後益々のご発展をお祈りしてひひます。

栗原亮介（11博士卒、京都大学） 長い間お世話になりとても感謝してひひます。

佐尾賢太郎（08博士卒、日本科学未来館）

～2006年度卒～

飯田誠之（11博士卒、スギホールディングズ）

韓暁明（09博士卒、大塚製薬工場） 片山研での学習生活が懐かしいです。

姜玉花（06修士卒）

佐藤 大（06修士卒、山口銀行） 片山研究室創設 10 周年、誠におめでとうございます。卒業して5年半が経ちましたが、片山研究室で学んだことは、今でもしっかりと活かされております。それは、あきらめないことです。特に、学生当時、研究生活で挫折しそうになった時には、片山先生をはじめ、同僚・先輩方々に温かく励ましていただき、苦しい時こそ続けるということの大切さを教えていただいたことは、今でもしっかりと覚えております。これからも片山研で学んだことを忘れず、頑張っていきたいと思います。最後に、片山研究室が今後もこれまで以上に時代をリードしていく最先端の研究室として活躍し、ますますの発展をなされますよう、お祈り申し上げます。

塩谷 淳（09博士卒、荒川化学工業）

重岡輝彦（06修士卒、三菱ガス化学） 片山研 10周年おめでとうございます。私が入ったのは、片山研が誕生してからすぐのことでした。私が所属している間に研究室の移動があり、私自身はテーマの関係で馬出キャンパスにいたため、伊都キャンパスとの間をミーティングなどでよく往復していたことを憶えています。片山先生には、研究からそれ以外のことなど、お忙しいなか相談にのっていただき、大変お世話になりました。現在の仕事は、研究室のテーマとはあまり関係のないものですが、アイデアをいろいろと出して形にしていく、片山研で学んだことが生きていると思います。片山研で教わったことを、大事にしていきたいと思います。いろいろありがとうございました。片山研のますますのご発展を祈念いたします。

寺田恵子（06修士卒、エーピーアイコーポレーション）

成相鮎子（06修士卒、帝人）

薬丸康介（06修士卒、住友ベークライト） 10 周年おめでとうございます。片山研では、合成から動物実験まで多岐に渡って学ばせていただきました。技術者としての第一歩を、片山研という素晴らしい環境で踏み出せたことを誇りに思います。片山研の皆様と祝賀会で会えるのを楽しみにしています。

山形真人（06修士卒、日東電工） 片山先生、10周年おめでとうございます。片山研で過ごした日々は、研究や仕事に対する姿勢を学び、仲間、そして生涯の伴侶に出会えたかけがえのない時間でした。片山先生や皆様の元気なお姿を拝見できるのを楽しみにしております。

山地貴之（06修士卒、大正製薬） 片山研10周年、誠におめでとうございます。片山研で学んだことが仕事をする上で大変役立っていると感じます。特に、卒業する直前に片山先生から頂いた「10言われたことに対して、10返すことは最初は難しいかもしれないが、自分なりに10返せるように頑張れ。それを続ければ自然と10以上のことを返せるようになる」という言葉は深く胸に刻んで仕事をしています。今後、益々の発展を祈念致します。

綾部あゆみ（06学士卒）

村本正和（06社会人博士卒、アステラス製薬）

大江智也（06社会人博士卒、アステラス製薬）

山崎高生（06社会人博士卒、アステラス製薬）

～2007年度卒～

秋吉謙（07修士卒）

大石（伊集院）萌子（07修士卒、アークレイ） 片山研究室10周年おめでとうございます。片山研では多くのことを学ばせていただきました。片山研で出会えた先生方、先輩、友人、後輩、そして過ごした3年間は今の私にとってもかけがえのないものになっています。

岡本悠里（07修士卒、ADEKA）

倉本政則（10博士卒、テルモ） 「原点」、それが私にとっての片山研です。企業に勤めて1年が過ぎ、アイデアを商品化するまでの道のりの険しさと与えられた時間の短さに心が折れそうになる日々を送っていますが、それでも何とか踏ん張っていられるのは片山研での経験があったからです。D-RECSというテーマを先輩方のご尽力でキャリアの基本設定とコンセプトの証明が完了した段階で引き継ぎ、私は本テーマの「実用化」と「横展開」を目指しました。その中で、「限界まで洗練したシンプルな方法で、最大の効果を発揮する」という理念を身に着けさせて頂きました。この理念が自分の「原点」としてあるおかげで、困難な課題に対してもぶれずに取り組むことができます。私を育てて下さった片山研の皆様には本当に感謝の念が尽きません。どうか今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。そしていつかご一緒に世の中に貢献する仕事をさせて頂けたら幸甚です。

古賀敦雄（07修士卒、新日鉄化学）

田中洋尚（07修士卒）

戸井田力（10博士卒、大阪大学） 片山研究室 10周年、誠におめでとうございます。6年間自由気ままに楽しませて頂きました。社会に出ると、自由・・・とはいかないですね。これからも楽しく、自由な片山研究室いることと、さらなる発展をお祈りしております。

松本圭吾（07修士卒、日産化学工業） バイオマテリアルの研究に興味があった私を、大学院からの入学を受け入れてくださり、本当に感謝しています。片山研では、材料の合成から評価まで幅広い知識を有する片山先生に圧倒されながらも、研究室の持つ暖かい雰囲気の中、研究させていただきました。「10 求められたら 12 返す」最初に片山先生が仰った言葉は、大学のみならず、企業で研究を行う上でも重要であると社会に出てから改めて考えさせられます。当日は楽しみにしています。

山形（張）天（07修士卒） 片山先生 10周年 おめでとうございます。在籍中は、本当にお世話になりました。一番勉強し、切願して入学できた場所でしたが、自分がこんなにも力不足と気づかされる場所でありました。しかし、在学中のわずかな2年間ではありましたが、先生方の元で、勉強できたこと、とても多くの仲間、生涯のパートナーに出会うことができました。仕事も家庭もまだまだ未熟ではありますが、プロを目指してこれからもがんばっていきたいと思います。在学は、2年間でありましたが、片山研究室での思い出、これからの時間は一生モノと思っています！！ 片山研究室の、先生方のこれからの益々のご発展をお祈り申し上げます。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

～2008 年度卒～

秋山泰之（11博士卒、東ソー） 研究の楽しさを教えてくれた掛け替えの無い場所です。

朝見陽次（08修士卒、サントリーホールディングス） 片山研究室 10周年おめでとうございます。片山研空室に所属した3年間では、片山先生にご指導いただき、研究に対する姿勢を学ぶことができました。今の自分の仕事のやり方は研究室で学んだことを基にしていると思います。また、研究室では先生方、先輩、同輩、後輩といった素敵な人々と会えたことも研究室生活で得られた大事なことです。次の10年に向けてさらにご躍進ください。

菅尾祐輔（08修士卒、大日本住友製薬） 研究室設立 10周年おめでとうございます。片山研究室での2年間、世界と競う現実的な研究活動を体感し、自身を成長させることができました。ありがとうございました。研究室のますますのご発展をお祈りいたしております。

田中洋行（11博士卒、日東電工） 片山先生及び関係者の皆様、片山研究室 10周年おめでとう

ございます。片山研での5年間で、ご迷惑をおかけしたことも多々あるかと思いますが、自分なりに成長することができました。おかげさまで、現在はやりたかった仕事に就いています。残念ながら、この度の祝賀会には参加できませんが、北海道からお祝い申し上げます。

塚本彩子（08修士卒、カネカ）

土谷享（11博士卒、九州大学） 10周年おめでとうございます。片山研での学生生活で今の私の研究に対する姿勢、考え方を育むことができました。今後の研究室の益々のご発展をお祈り致します。

山下秀治（11博士卒、シスメックス） 片山研究室では、研究のスキルだけでなく、考え方も学ばせていただきました。また、同期にも恵まれ、私の人生においても思い出に残る恵まれた時間でした。

山之内豪（08修士卒、住友パークライト） 人生

渡部和人（11博士卒、JSR） 長い研究室生活、大変お世話になりました。学生の自主性を重んじる片山研に、配属当初は四苦八苦ししました。しかし気がつけば6年間も在籍させていただき、研究室取りまとめの真似事のような事をしながら、思うままに研究室生活をおくらせていただきました。これも陰ながら親身に支えてくださった、片山先生を始めとするスタッフの方々・諸先輩方のお力添えがあつての事と思います。私は現在、化学メーカーにて新規事業の立ち上げに関する研究開発に携わっています。片山研でのライフサイエンスとは遠く離れた内容に少々戸惑いながらも、日々充実した社会人生活を送っています。片山研の名に恥じぬよう、今後も一層精進して参ります。最後になりますが、片山研究室の更なる躍進と関係者各位の益々のご発展をご祈念申し上げます。 2012年3月卒業生

稲盛和紀（08社会人博士卒、東洋紡）

志波公平（08社会人博士卒、シスメックス）

～2009年度卒～

相原大知（09修士卒、住友パークライト） 片山研究室10周年心よりお祝い申し上げます。私が片山研究室で過ごした2年間は、私にとって大切な2年間でした。バイオの研究の楽しさ、研究に取り組む姿勢を教えていただき、また素晴らしい先生方や先輩、後輩、同期に巡り会えたこと、数え切れない程の貴重な2年間を過ごすことができました。片山研究室の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。片山研究室の皆様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

安藤豪（09修士卒、富士レビオ）

大賀晃（09修士卒、キリンビバレッジ）

古賀春香（09修士卒、日産化学工業） とにかく全力投球した場所。一緒に過ごしたメンバーや時間を思い出すだけで、元気が出ます。

塩崎秀二郎（博士在学中） 片山先生、教授就任10周年おめでとうございます。片山研究室での生活は、自由な雰囲気満ちており、実際に、常識の範囲内であれば休日から研究テーマに至るまで自由に設定することができます。学生に与えられる「自由」というものは、多くの場合怠惰な生活に繋がってしまいがちです。しかしながら、その自由な雰囲気の中でも、集団に属する個人としての自律、ひとりの研究者としての自立が促されていることが片山研究室のいいところであると思います。また、このようなことを可能にしているのは、片山先生の人柄によるものが大きいのではないのでしょうか。私はこれまで4年半にわたって片山研究室で研究を行ってきました。片山研究室の、自由に研究ができるという素晴らしい環境のお陰で、「自ら考える」という基本的なことが自然に身についたと感じています。社会に出ても、片山研究室の名に恥じぬよう、活躍していきたいと思います。

下村隆（09修士卒、同仁化学研究所） 3年間アレイグループで研究していました。今の職場では、アレイに関する仕事はしていませんが片山研で学んだ生化学や表面化学の知識と技術を活用できています。学ぶ機会を与えていただいた片山先生、新留先生、森先生に感謝しております。また、研究室旅行、ソフトボール大会やバーベキューなどのイベントにも参加し、バーベキューにいたっては卒業後も参加させていただきました。修論など大変なこともありましたが、楽しい三年間でした。

富山哲朗（09修士卒、協和発酵キリン）

秦彬斗（09修士卒、武田薬品工業） 10周年おめでとうございます。学部4年から修士までを研究室で過ごした私にとって、片山研のスタイルは適当な研究環境だったと思っています。年を追うごとにそのおおらかさに敬服する限りです。益々の発展を、陰ながら応援しています。

小林優太（09学士卒、福岡県職員）

～2010年度卒～

北崎博太郎（10修士卒、久光製薬） 片山研究室10周年おめでとうございます。私は学部1年次の創造工学演習、3年次の応用化学演習そして学部4年次から大学院卒業までの3年間、片山研究室にお世話になりました。今考えると片山研究室一筋の大学生活だったと感じています。3年間の研究室生活では、年々帰宅時間が早くなり、研究室にとってはあまり良い学生ではなかったと思います。しかし、片山先生が寛大な御心で見守ってくださったので、ドロップアウトせずに社

会人になることができました。本当にありがとうございました。末筆ではありますが、片山研究室の益々のご発展を祈念致します。

御供田理沙（10修士卒、アークレイ） 大学と大学院の3年間、片山研では大変お世話になりました。片山研では知識だけでなく、研究への姿勢を教えていただいたと思っています。多くのことを学べた場所であり、またかけがえのない同期や研究室メンバーに出会えた思い出の場所です。そんな片山研が10周年を迎えられたことを嬉しく思います。10周年誠におめでとうございます！

新堀 武士（10修士卒）

趙国玺（博士在学中）

成富友紀（10修士卒、グンゼ） 10周年おめでとうございます。片山研で過ごした3年間は、とても楽しく充実した時間でした。毎年恒例だった研究室旅行やバーベキューは、今でもとても良い思い出です。

矢山由洋（10修士卒、住友ベークライト） 片山先生、10周年おめでとうございます。今、研究室にいた頃を振り返るとあっという間の三年間だった気がします。研究に遊びに充実した日々を過ごしたからではないかと思えます。研究室に来た最初の日、片山先生は「眉間にしわを作って研究をするのではなく、わくわくするような研究をしよう！」とおっしゃっていましたが、その通りに楽しく研究できたと思えます。寧ろもう少し真面目に実験したほうがよかったかもしれませんが、私には年に2回だけ研究室で主役になれる日がありました。それはソフトボール大会の日です。研究ではアレイグループの足を引っ張ってばかりでしたが、ソフトボール大会では賞品のビール券やグローブなどの回収に貢献できたと思えます。OB 枠が空いていればいつでも呼んでください。

野田萌子（10学士卒、鳥取県職員） 片山研で過ごした日々が今の私に生きています。

～2011 年度卒～

上元純平（11修士卒、千葉大学医学部附属病院臨床試験部） 私は三年間片山研究室に所属したが、これまでの人生のなかで一番密度が高い経験をした3年間だったように思う。社会人となり日は浅いが、片山研究室での経験は（残念なことに勉強してきたことよりも）役に立っている。小学校から大学までは、ある意味講義を受けるだけだったが、研究室に所属してからは、手取り足取りのサポートがあるとはいえ、自分でスケジュールを含め考えて必要なことを勉強し実験をするスタイルへ変化した。いろいろな実験・仕事をやらせていただけたので、知識や経験をいかに獲得するかだけでなく、知識をどのように使えばよいか・スケジュールリング、という点でも学ぶことができた。『マスターのMはモラトリアムのM』という言葉も耳にしたことがあるが、社会に出る前にとてもよい経験をさせていただいた。研究で結果を残せなかったのが残念だが、私はとても楽しめました。研究室のみなさま、ありがとうございました。

川並寛幸（11 修士卒、新日鐵化学） 10周年おめでとうございます。片山研究室に所属していた2年間で、研究に対する考え方や面白さなど色んなことを学ばせて頂きました。グループMTや総合試験、研究室旅行などたくさんの思い出も頂きました。今は片山研で学んだことを活かして元気に仕事しています。片山先生もいつまでもお元気でお過ごしください。片山研究室のますますのご発展を願っています。

高橋佳世（11 修士卒、テルモ） 片山研10周年おめでとうございます。在学中には、片山先生をはじめ新留先生や森先生に大変お世話になりました。また素敵な先輩や同期、後輩に恵まれ、片山研での3年間は非常に楽しい思い出ばかりです。私はこの春卒業したばかりですが、今回久しぶりに片山研の皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

竹尾将史（博士在学中） 私が初めて片山研究室に足を踏み入れたのは、学部一年の初夏、コアセミナーと呼ばれる研究体験の時間でした。入学したばかりで右も左もわからない私たちに提示された課題は、カエルや植物の採集。今となっては動植物細胞の顕微鏡観察をするとすぐにわかるものの、当時の私は、研究者は毎日昆虫採集をしているのだと勘違いしていました。研究の一端を担えるのだと奮起した私は、大量のカエルを捕獲してきたのを今でも鮮明に覚えています。当時の先輩、新留先生から多くのことを学び、私は片山研究室に入ることを決意しました。研究生活は毎日が新しい経験の宝庫で、常に私自身が上書きされているのをリアルタイムで感じられます。博士課程の残り2年半、片山研究室で与えられたもの以上に、多くのものを返したいと思っています。

野瀬圭介（11 修士卒、久光製薬） この度は片山研究室が10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。片山研究室では片山教授、新留准教授、森先生をはじめとして、同期、そして多くの先輩や後輩にも支えられて楽しく研究室を過ごすことができました。片山研に在籍した3年間では研究の楽しさや厳しさを学ぶことができたとは感じており、多くの経験を片山研で積むことができたことに対して大変感謝しております。最後に、今後の益々のご発展を祈念いたしまして、お祝いの一言とさせていただきます。

福島寛満（11 修士卒、住友ベークライト） 片山教授、10周年おめでとうございます。片山研究室での三年間は私にとって充実したものでした。片山研究室出身ということは私にとって誇りです。

～在校生～

Chan Woo Kim（博3） It's a great honor to be here with nice professors and students in Katayama lab. And also I always appreciate all supports of lab members.

李翠翠（博3） 片山研10周年おめでとうございます。機械系の修士を卒業し片山研に入った私は、初めの頃新しい研究に対して不安がいっぱいでした。しかし、片山先生はよく私の相談にのっ

てくださり、さらには個人授業も行ってくれ、たくさんの専攻知識を学ぶことができました。片山研ではつらいことも、楽しいこともたくさんありましたが、これらは私にとって忘れられない思い出に成りました。

脇川憲吾（社会人博2） ご迷惑をおかけしてます（現在進行形）。

船本大起(博1) この度は、片山研究室が10周年を迎えられ、誠におめでとうございます。2012年4月から私が片山研究室に所属し、約5か月が経過しました。片山研究室では、ドラッグデリバリーシステムの研究テーマを通じて、高分子化学または合成化学的なアプローチによる生命工学についていろいろと学んでいきたいと思っています。また、この研究室での学生生活を通じて、学生生活でしか学べないことに関しても、いろいろと学んでいきたいと思っています。まだ、至らないところも多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

MD.Zahangir Hosain（博1）

池田広夢（修2）

串尾聡之（修2） 片山研は、学部生の自分に工学の幅広い可能性を提案してくれました。今その一員であることを誇りに思います。そして今度は後輩の目標となれるように精進して参ります。

小林弘明（修2） 架け橋

飛永恭兵（修2） 10周年という節目の年に、片山研究室に所属できていることを嬉しく思います。私は大学院から片山研究室に来たので、たった1年半しかお世話になっていませんが、たくさんのお話を学ぶことができます。卒業まであと半年ですが、片山研究室というレベルの高い環境でたくさん刺激を受けながら、少しでも多くの実験結果を残すことで、ポンコツな私を捨てていただいた研究室に恩返しできたらと思っています。そして、片山研究室で2年間勉強してきたことに自信を持って社会に羽ばたいていきたいです。

尚山堅士郎（修2） 片山先生、10周年おめでとうございます。出身校である北九州高専在学時から、片山研究室で研究をさせていただき、今年で6年目となりました。博士課程進学のため、片山研究室には9年間在籍する予定です。その間に、お世話になった片山研究室に一つでも多くの成果を残せるよう、精進していきたいと思っています。

吉浦萌笑（修2） 片山研究室10周年、おめでとうございます。私は2011年度に入学し、ミーティング、雑誌会、検討会、研究室旅行、学会、就職活動、総合試験と毎日をなんとかやってきましたら、いつの間にか1年半が経っていました・・・片山研究室での生活は、私にとって挑戦の連続です。おそらくこれからの研究室生活もあっという間に過ぎていくと思いますが、ここでしかできない経験、研究室の人たちとの時間を大切に残りの時間も精一杯過ごしていきます。

イ・ウンギョン（修2）

大坪裕紀（修1）片山研究室 10 周年おめでとうございます。私は前年度から片山研究室に所属しており、現在は修士 1 年生としてお世話になっています。研究面では苦勞することも多いですが、研究室の先輩・後輩・同期のみんなと日々楽しく過ごしています。

唐 衡敏（修1）片山研究室 10 周年おめでとうございます。このような年にこの研究室の一員になれたことをとても光榮におもっております。まだ研究室生活を始めて 4 か月ですが、優しい先生方や愉快的な先輩方のおかげで毎日楽しく過ごせています。今後、卒業までの 5 年間もたくさん学び、たくさん実験して、たくさんいい思い出を作っていきたいと思います。

千々岩信勝（修1）片山研究室での研究生生活が始まってから、約一年半が過ぎました。いまだにあれこれと戸惑うことが多い毎日ですが、日々学びつつ、楽しく過ごしています。この一年半を思い返すと、研究室での生活は、研究のみならず、様々な経験を私に与えてくれました。それらは、間違いなくこの片山研究室でしか得られない、特別な経験であったと思います。これからも片山研究室での貴重な毎日を、一日も無駄の無いように過ごしていきたいと思います。

中村雄太（修1）私は大学一年生の頃から片山研究室のお世話になってきました。大学一年のときに受けたコアセミナーでは、すでに卒業された先輩方から細胞実験やポスター発表の仕方を教えてもらいました。また大学三年のときには、応化演習で論文の読み方や口頭発表などを指導してもらいました。そして大学四年で片山研に在籍してからは、片山先生や先輩方の下、非常に多くのことを学んできました。このように私は他の人よりも多くの時間、片山研に携わっており、片山先生をはじめ、先輩方の皆さんに感謝するとともに、片山研の一員として研究室を少しでも支えることができたらと思っています。

登貴信（修1）片山先生、10 周年おめでとうございます。私は今年の 4 月に片山研に加わったばかりで、まだまだわからないことばかりですが、先生方、先輩方に支えられ毎日充実した日々を過ごすことができおり、片山研の一員になれたことをとても嬉しく思っています。先輩方が作り上げてきたこの片山研のますますの発展に貢献できるようこれから頑張っていきたいと思います。今回の 10 周年記念講演会・祝賀会で片山研の歴史をしっかりと学んでいきたいです。

松田雅義（修1）片山研究室に所属して一年が経ち、研究室にもなじんできました。日々、研究を続ける生活につらいと思うこともありますが、気の置けない仲間たちと過ごす日々を楽しんでいます。

山内久代（修1）片山研究室に所属してまだ日にちは浅いですが、10 周年という区切りのときに自分も参加できることを嬉しく思います。片山先生をはじめ、先生方や先輩方皆さんとても優しい方ばかりで、すぐに研究室になじむことができました。研究の面では、いまだにうまくいかないことばかりで、先生にはご迷惑をおかけしておりますが、こんな私を合格させてくれた先生方の恩に報いるためにも、より一層研究に取り組んでいこうと思います。10 周年おめでとうございます。

李凱（修1） 片山先生、教授ご就任 10 周年おめでとうございます。私は片山研でお世話になりもう 1 年半になっており、ほんとうに早かったと思います。この 1 年半を経過して、先生と先輩のご指導のおかげで、入学最初の不安が全然なくなり、また毎日新しい知識を身につけていると思います。これから、研究室の皆さんと一緒に研究を更に進むため、頑張ります。片山研の今後の更なる発展を祈っています。

Elnaz Nakhaei（修1） I am so delighted that I joined professor's Katayama lab.I really appreciate what professor's Katayama had done for me,he is totally a supportive person. Though I am a new comer here,I am sure this is a lab in which I can learn a lot and do successful research by cooperating with other members. This is my pleasure to be in the tenth anniversary of Katayama's lab establishment.

石田郁実（学4） 片山研究室 10 周年おめでとうございます。毎日楽しく過ごさせていただいています！学部3年生までは、研究室に配属になると毎日同じ人だけと顔を合わせ同じようなことを繰り返す日々で、自分の生活範囲や考え方が狭くなってしまいうような気がしていました。しかし、実際に研究室で生活してみると個性豊かな方々もたくさんいて新しい発見もたくさんありました！同じような実験でも少しずつ自分で考えてできるようになると嬉しいです！皆様のおかげです。ありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。

坂村有紀（学4） 10 周年おめでとうございます。今年から片山研に所属となり、日々先生方や先輩方のご指導のもと実験に励んでいます。充実した研究室生活を送っていけるように、実験をがんばり、行事を楽しみたいと思っています。これからもよろしく願いします。

長井洋子（学4） 片山研究室 10 周年おめでとうございます。片山研究室に配属してまだ 1 年目ですが、先生方や先輩方にご指導いただき、充実した時間を過ごすことができています。これから卒業するまで、より多くのことを学んでいきたいと思っています。これからもよろしく願いします。

歴代の集合写真

2005年度



2006年度



2007年度



2008年度



2009年度



2010年度



2011年度



2012年度





「生体に翻弄されながらも病気に立ち向かう健気なナノ粒子達」
片山佳樹教授 2012



「無題」片山佳樹教授 2012

片山研究室10周年記念講演会要旨集

2012年10月13日 発行

発行・編集 片山研究室10周年記念講演会 実行委員会
(新留琢郎、森 健、園田達彦、山本竜広)